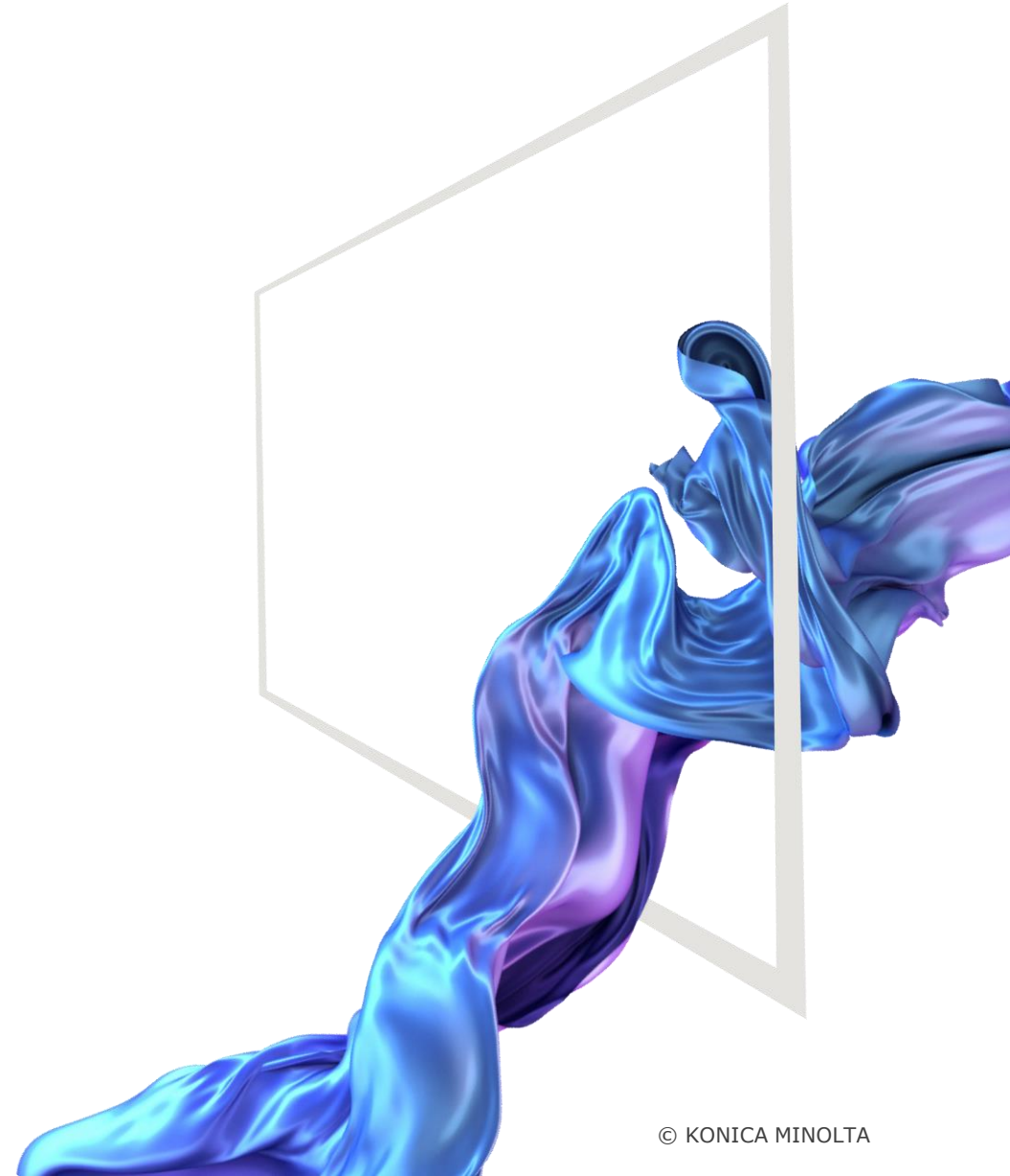


# コニカミノルタ株式会社 2025年3月期（2024年度） 第1四半期決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充  
2024年7月31日



# 本日のポイント

## FY24 1Q実績

- 増収、事業貢献利益\*が大幅に改善したが、営業利益、当期利益は赤字  
(営業利益は一時費用の影響、当期利益は金融収支および税金費用の影響)
- 好調に推移：機能材料、産業印刷、オフィス、DW-DX、プレジジョンメディシン
- 進捗に課題：センシング、ヘルスケア

## 中期経営計画の進捗

- **グローバル構造改革**
  - 想定通り進捗
- **事業の選択と集中**
  - プレジジョンメディシン：Invicro社の全持分譲渡完了（4/30）、キャッシュイン93億円
  - DW-DX：地域と商材の選別に沿って欧米の一部サービスの譲渡完了（6/30）
- **財務基盤の強化**
  - FCFが改善

\* 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

# 2024年度 1Q業績



KONICA MINOLTA

# 2024年度 1Q業績 | 全社サマリー

- 売上高 : 為替影響もあり増収
- 事業貢献利益\* : 売上総利益率 約2pt改善、非重点・方向転換事業の損失縮小等により大幅改善
- 営業利益 : 赤字縮小。グローバル構造改革の一時費用、Invicro社の売却益等を含む
- FCF : 一過性要因もあり営業CFが悪化、FCFは事業譲渡により改善

【億円】

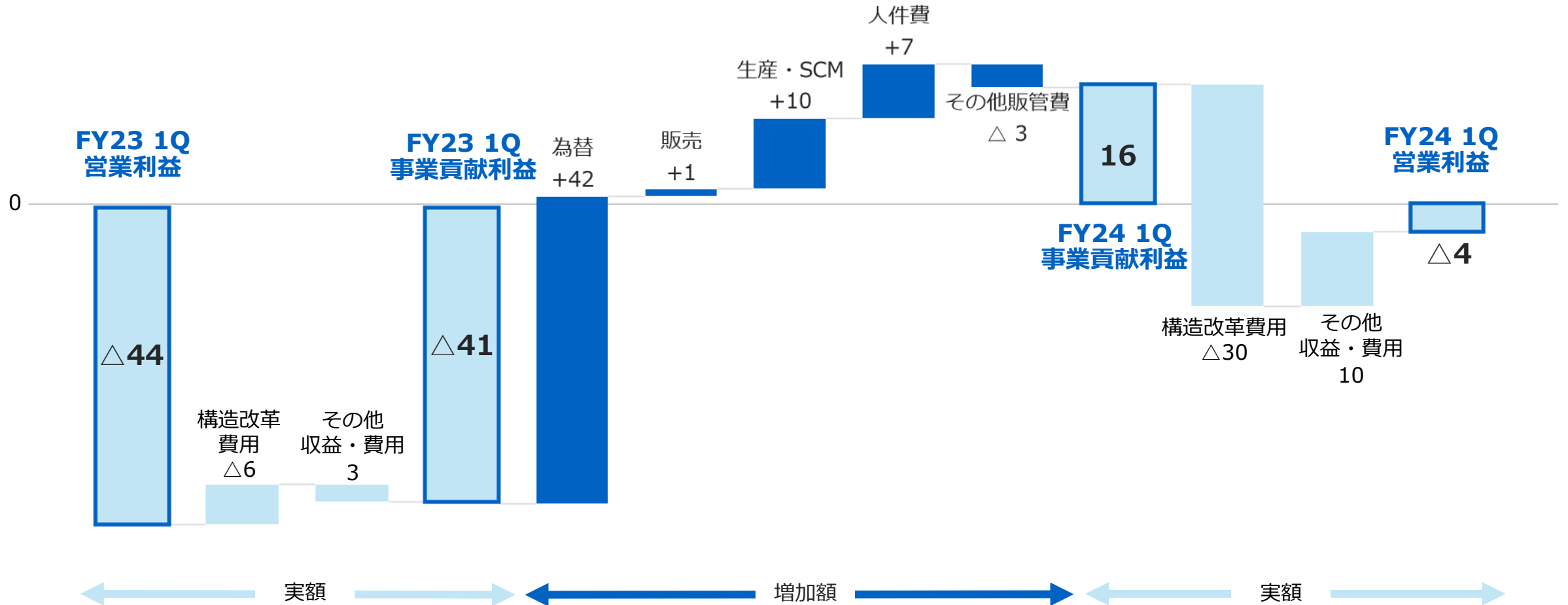
	FY23 1Q	FY24 1Q	前期比	前期比 (為替影響除く)
売上高	2,664	2,862	+7%	△ 2%
売上総利益	1,119	1,264	+13%	+1%
(売上総利益率)	42.0%	44.2%	+2.2pt	
販売管理費	1,160	1,248	+8%	△ 1%
事業貢献利益 *	△ 41	16	-	-
営業利益	△ 44	△ 4	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 56	△ 35	-	
FCF	△ 108	△ 82	-	
為替レート (円)				
USドル	137.37	155.88	+18.51	
ユーロ	149.47	167.88	+18.41	
人民元	19.56	21.48	+1.92	

\* 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

## 2024年度 1Q業績 | 事業貢献利益の増減要因

- 販売：機能材料、プレジジョンメディシンが増加、センシング、ヘルスケアが減少
- 生産・SCM：オフィス中心にコスト低減
- 人件費：人件費単価上昇あるも、プレジジョンメディシン（Invicro社）で減少

【億円】



# 組織変更に伴う開示セグメントの変更

FY24より「情報機器事業」「インダストリー事業」「画像ソリューション事業」の主要3領域に区分し、中期経営計画の実行を加速する体制を強化

FY23以前		FY24以降		
デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス</li> <li>■ DW-DX</li> </ul>	情報機器 事業	デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス</li> <li>■ DW-DX</li> </ul>
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント</li> <li>■ 産業印刷</li> <li>■ マーケティングサービス</li> </ul>		プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント</li> <li>■ 産業印刷</li> <li>■ マーケティングサービス</li> </ul>
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>メディカルイメージング</b></li> <li>■ <b>プレジジョンメディシン</b></li> </ul>	インダストリー事業	インダストリー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センシング</li> <li>■ 機能材料</li> <li>■ IJコンポーネント</li> <li>■ 光学コンポーネント</li> </ul>
インダストリー 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センシング</li> <li>■ 機能材料</li> <li>■ IJコンポーネント</li> <li>■ 光学コンポーネント</li> <li>■ <b>画像IoTソリューション</b></li> <li>■ <b>映像ソリューション</b></li> </ul>			画像ソリューション事業
コーポレート他 (QOLソリューション、FORXAI、技術開発本部、他CO)			プレジジョンメディシン事業	
			コーポレート他 (技術開発本部、他CO)	

# 2024年度 1Q業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

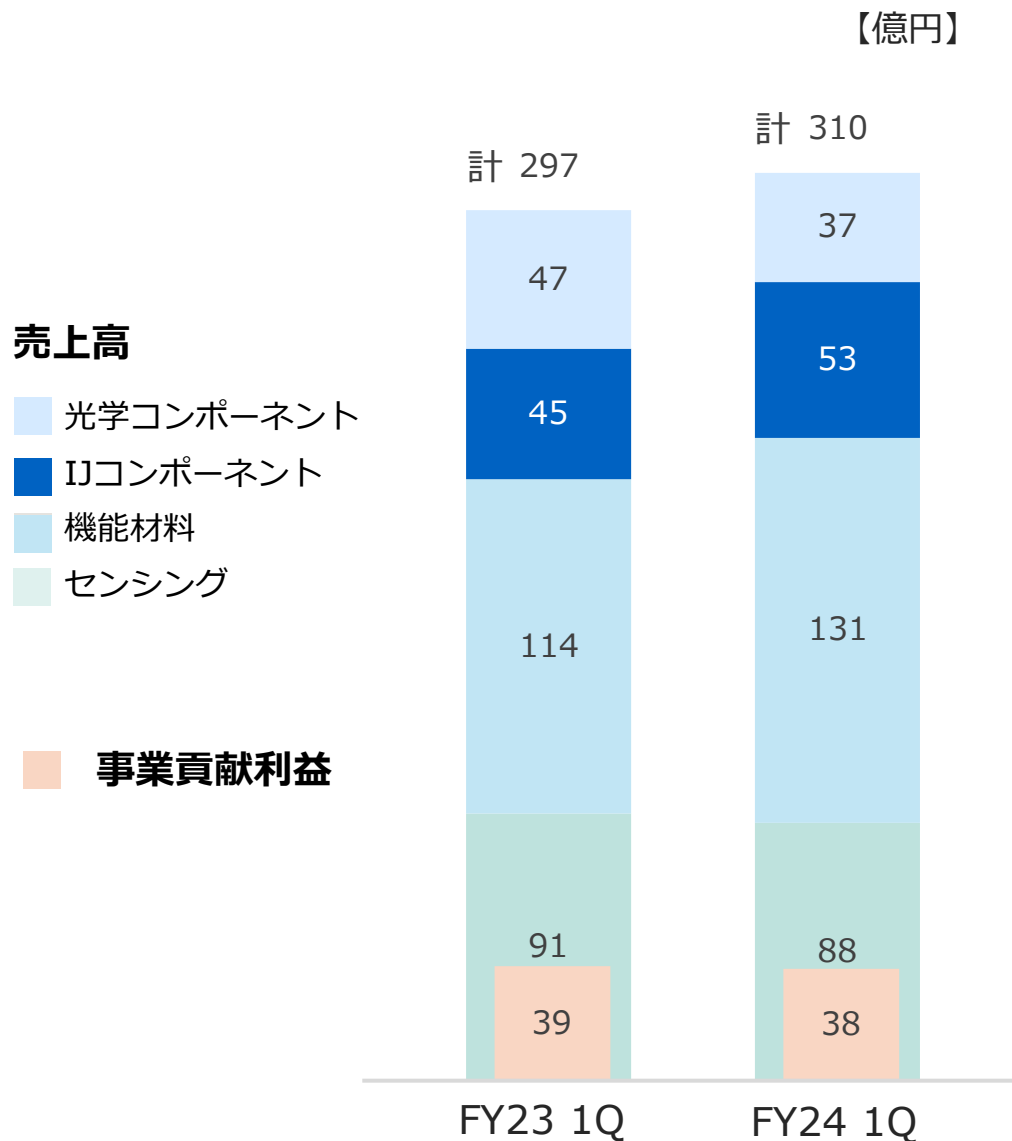
【億円】

売上高	FY23 1Q	FY24 1Q	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	1,433	1,520	+ 6%	△ 4%
プロフェッショナルプリント事業	602	676	+ 12%	+ 1%
インダストリー事業	297	310	+ 4%	△ 2%
画像ソリューション事業	218	228	+ 5%	△ 1%
プレジジョンメディシン事業	113	126	+ 11%	△ 2%
コーポレート他	2	2	+ 19%	+ 19%
全社合計	2,664	2,862	+ 7%	△ 2%

事業貢献利益	FY23 1Q	FY24 1Q	率	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	24	68	4%	+ 186%	+ 92%
プロフェッショナルプリント事業	8	18	3%	+ 119%	△ 82%
インダストリー事業	39	38	12%	△ 2%	△ 16%
画像ソリューション事業	△ 27	△ 40	-	-	-
プレジジョンメディシン事業	△ 29	△ 2	-	-	-
コーポレート他	△ 55	△ 65	-	-	-
全社合計	△ 41	16	1%	-	-

営業利益	FY23 1Q	FY24 1Q	率	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	20	45	3%	+ 126%	+ 23%
プロフェッショナルプリント事業	9	17	2%	+ 79%	△ 90%
インダストリー事業	39	31	10%	△ 21%	△ 34%
画像ソリューション事業	△ 27	△ 43	-	-	-
プレジジョンメディシン事業	△ 31	14	4%	-	-
コーポレート他	△ 54	△ 68	-	-	-
全社合計	△ 44	△ 4	-	-	-

# 2024年度 1Q業績 | インダストリー



【売上高】 (対前年同期)

センシング	<ul style="list-style-type: none"> <li>光源色：大手顧客の設備投資抑制の影響で減少</li> <li>物体色：前年同期並み</li> <li>自動車外観：需要は好調も期ずれあり前年同期並み</li> </ul>
機能材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV：スポーツイベント等でパネル需要が増加 SANUQIも前期の採用拡大により需要堅調</li> <li>スマホ：市場サプライチェーンの余剰在庫調整から回復傾向</li> </ul>
IJコンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> <li>基盤領域：サイングラフィックスで前期末の展示会活況によりヘッド販売増加</li> <li>成長領域：新規採用増加</li> </ul>
光学コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業上流：車載、半導体製造装置向けで堅調</li> <li>非産業：プロジェクタ用レンズが市況影響で低調</li> </ul>

【事業貢献利益】

インダストリー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>IJコンポーネント、機能材料：増益</li> <li>センシング：減益</li> </ul>
-----------	---

営業利益：光学コンポーネントの譲渡資産の為替変動による公正価値評価の差分△6億円を計上



## 注力する3つの分野で、パイプラインの積み上げや販売が着実に進む

### インクジェット

- 段ボール搬送工程でのIJ印字がdrupa2024で高く評価
- 工程IJ化により顧客のラベルレス・省力化を実現



当社薄膜ヘッドでハイギャップでもクリアな印字が可能となり、段ボール搬送工程への適用を実現

産業用途インクジェット  
2023-2025市場推定CAGR\*: **15%超**

### 半導体製造

- 2025年以降の拡大に向け可視光領域で新機種案件獲得
- 技術の標準化と表面精度向上に向け非接触研磨技術を導入、量産拡大を目指す

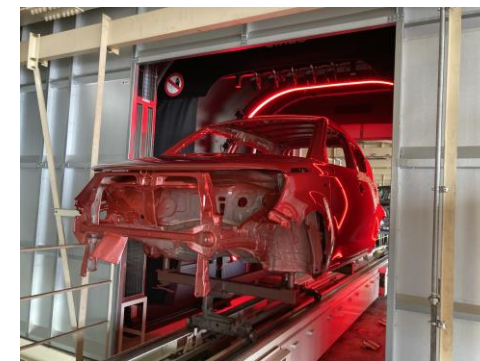


半導体製造装置用 超高精密光学レンズ

半導体製造装置向け光学コンポ  
2023-2025市場推定CAGR\*: **10%**

### モビリティ

- 自動車外観検査装置が国内初スズキ(株)工場に導入
- 市場成長以上の拡大を目指し、スズキ(株)他工場含めグローバルでパイプライン拡大

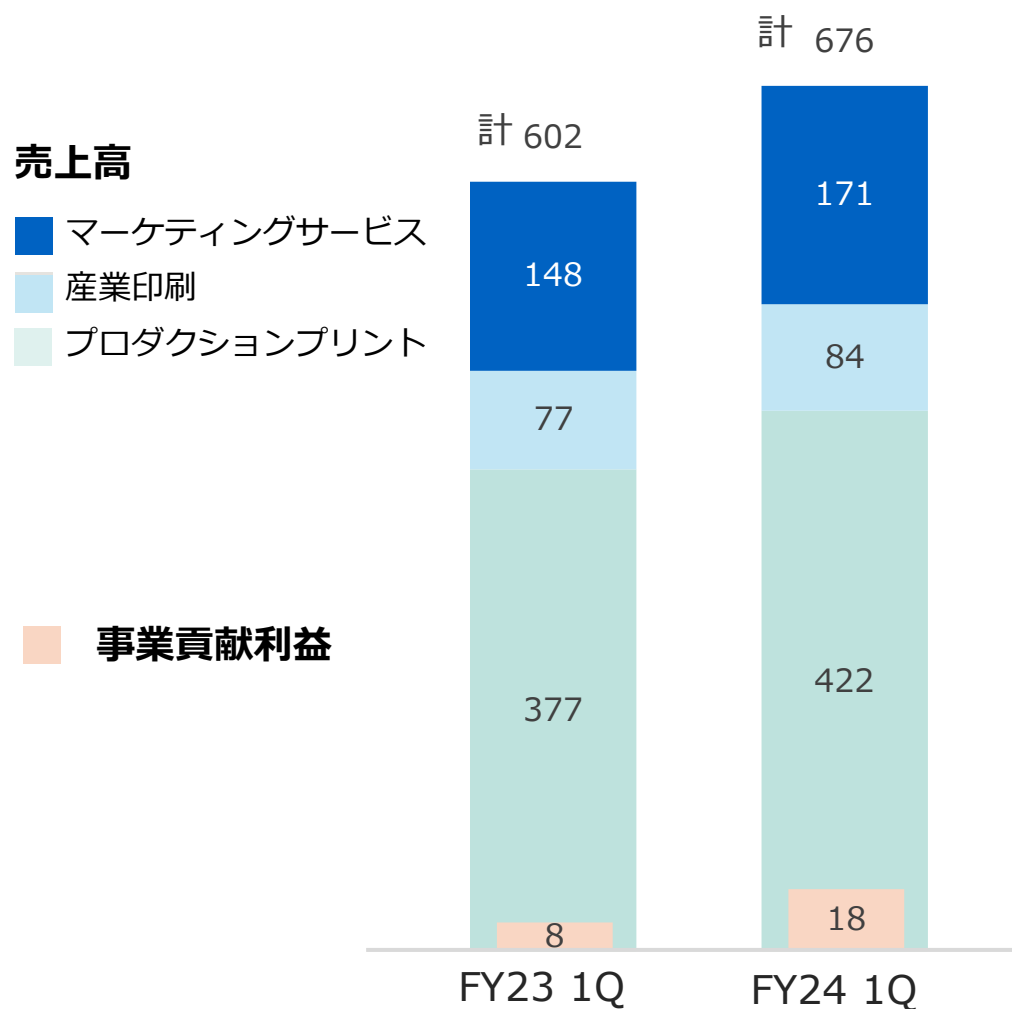


Einesとコニカミノルタの技術で世界最高水準の外観検査を実現

自動車外観検査装置  
2023-2025市場推定CAGR\*: **10%**

# 2024年度 1Q業績 | プロフェッショナルプリント

【億円】



## 【売上高】

(対前年同期)

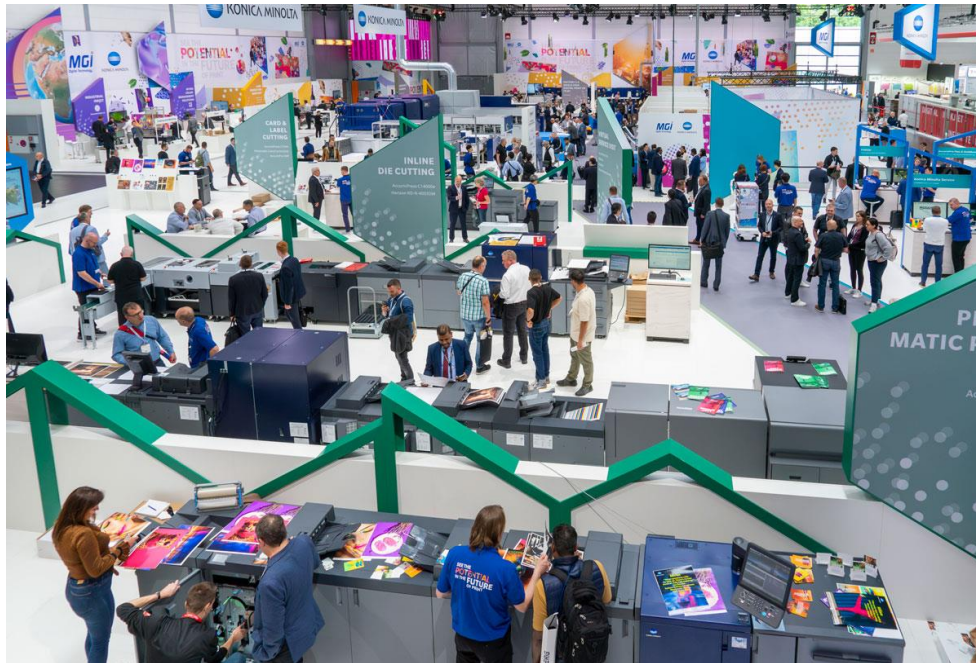
<b>プロダクションプリント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード：111% (為替除き100%) カラー機台数 95% (HPP152%) モノクロ機台数 88%</li> <li>ノンハード：113% (為替除き102%) 米中印で好調</li> </ul>
<b>産業印刷</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード：インクジェットデジタル印刷機の台数増加</li> <li>ノンハード：印刷機稼働台数の増加とデジタル印刷化比率の向上により売上増加</li> </ul>

## 【事業貢献利益】

<b>プロフェッショナルプリント事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロダクションプリント：増益</li> <li>産業印刷：損失縮小</li> <li>マーケティングサービス：減益</li> </ul>
------------------------	---

# 国際印刷・メディア産業展「drupa 2024」

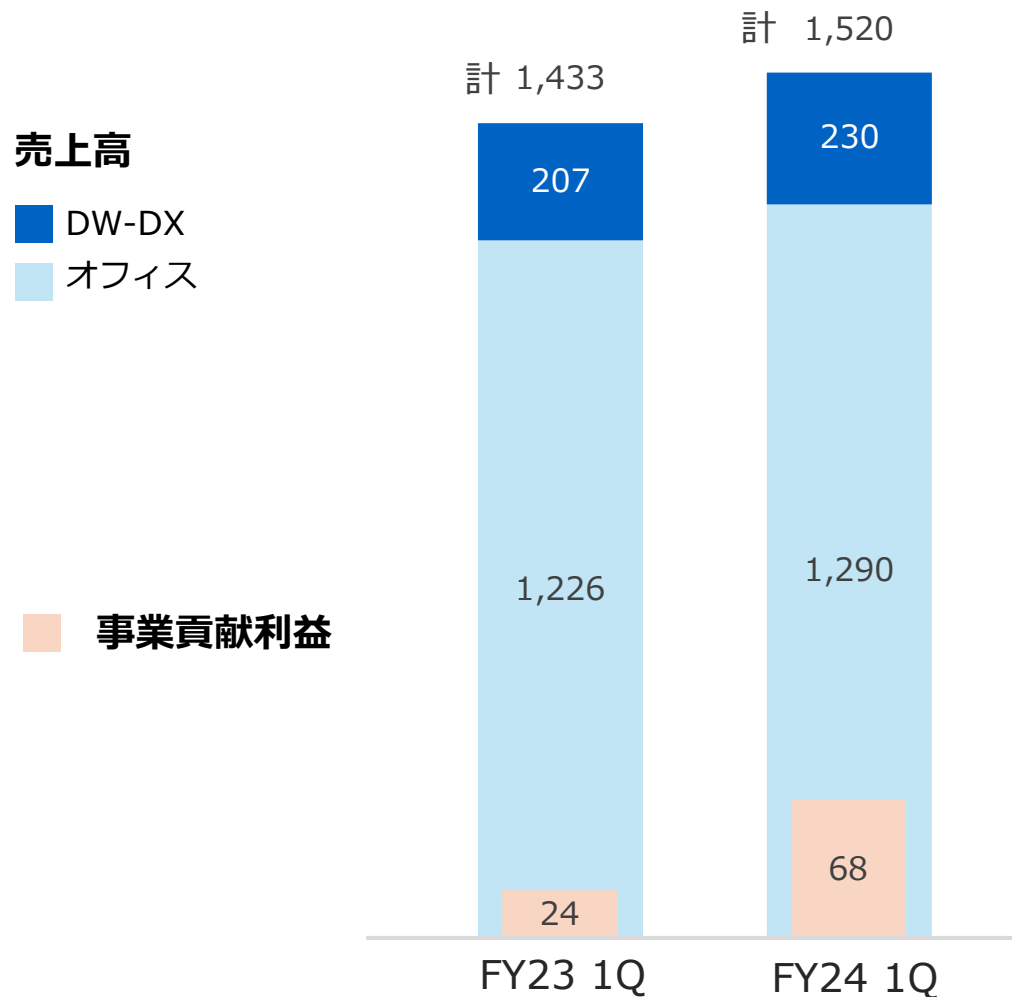
- 新型コロナを経て8年ぶりに開催。AccurioJet60000 (KM-1シリーズ)、AlphaJET (MGI)、AccurioLabel中心に、デジタル印刷の可能性に対する強い関心
- 開催期間中に200件以上の成約



(参考) 開催期間：5月28日～6月7日、出展社数：52カ国、1,643社、来場者数：174カ国、約17万人

# 2024年度 1Q業績 | デジタルワークプレイス

【億円】



## 【売上高】

(対前年同期)

オフィス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード：99% (為替除き89%) A3カラー機台数 90% A3モノクロ機台数 102%</li> <li>ノンハード：110% (為替除き100%) 日欧で減少、米で下げ止まり、中豪印で増加</li> </ul>
DW-DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務効率化サービス：日米欧で好調</li> <li>業種別のAI SaaSサービス：日本で好調</li> </ul>

## 【事業貢献利益】

デジタルワークプレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>オフィス：増益</li> <li>DW-DX：売上総利益増と販管費抑制等により損失縮小</li> </ul>
---------------	---

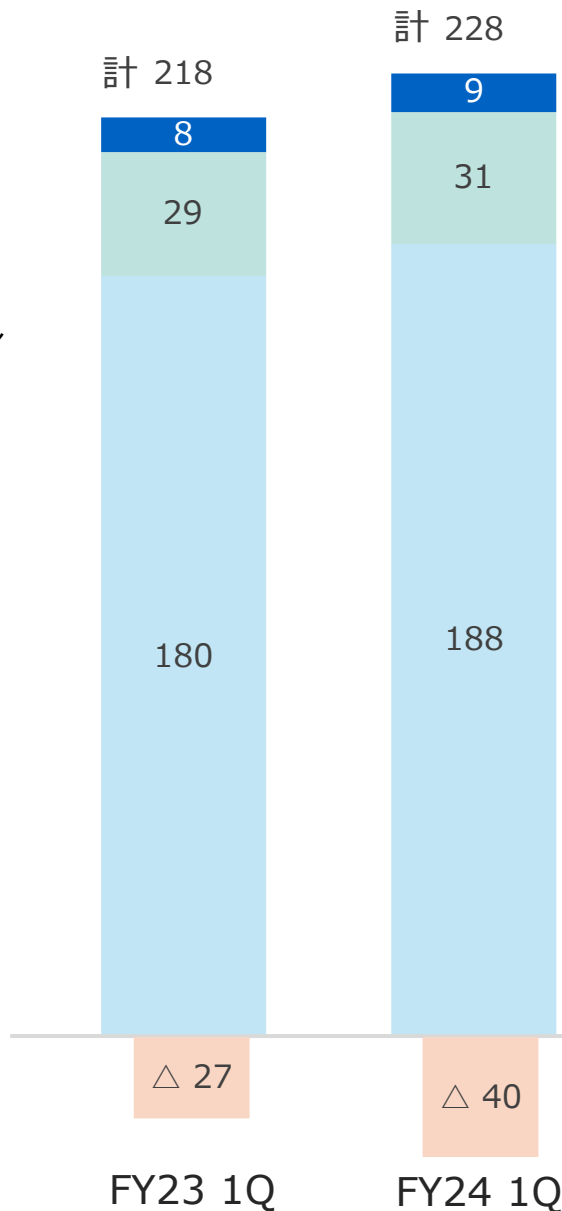
# 2024年度 1Q業績 | 画像ソリューション

【億円】

## 売上高

- 映像ソリューション
- 画像IoTソリューション他
- ヘルスケア

## 事業貢献利益



## 【売上高】

(対前年同期)

ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>• X線：日本は前年並み、米国で伸長</li> <li>• X線動態：好調を維持、特にアジアで伸長</li> </ul>
画像IoTソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 監視カメラソリューション：欧米販社堅調、Mobotix前年並み</li> <li>• Force Security社*：好調</li> </ul>

\* Force Security社：2023年度に買収した米国のシステムインテグレーター

## 【事業貢献利益】

画像ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヘルスケア：生産効率の悪化により損失拡大</li> <li>• 画像IoTソリューション他：損失 前期にCO他に含まれていたFORXAI*<sup>1</sup>と、QOLソリューション*<sup>2</sup>が追加</li> </ul>
-----------	---

\*1 FORXAI: AI技術を中心とした全社共通技術基盤を展開するユニット

\*2 QOLソリューション: 介護施設向けモニタリングソリューションを展開するユニット

# 中期経営計画の進捗



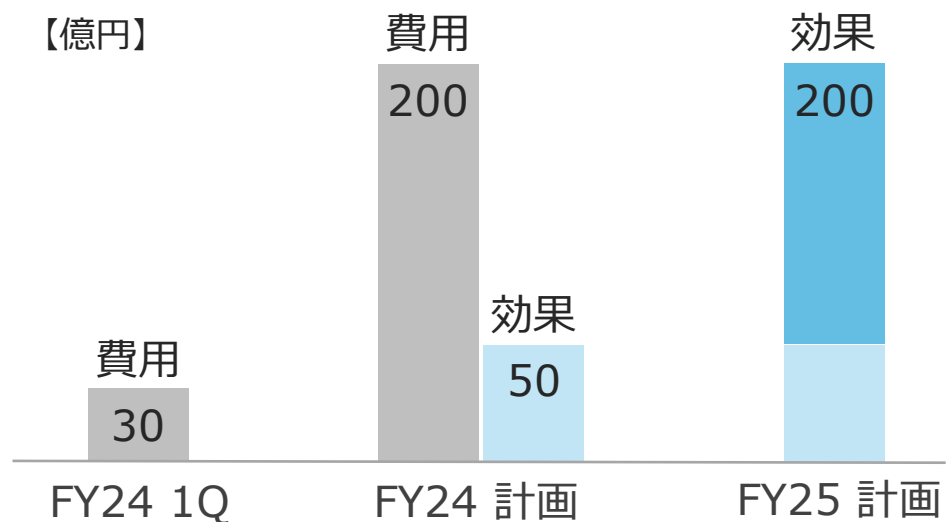
KONICA MINOLTA

## 生産性向上に向けた取り組み

<b>コーポレート</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告・分析資料の量と質を見直し、業務棚卸しとDXによる効率化</li> </ul>	<b>開発</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIを活用したソースコード作成自動化によるソフト開発効率化</li> </ul>
<b>生産</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の品質データに基づき良品率を最大化する製造条件をAIにより最適化</li> <li>環境変動時の部品在庫の予測、最適化自動提案</li> </ul>	<b>販売サービス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データに基づく予知保全によるオンサイトサービス工数の最小化</li> <li>AI分析によるマーケティングで販売効率化</li> </ul>

### 収益堅守・強化事業

- 1Qは想定通りの進捗

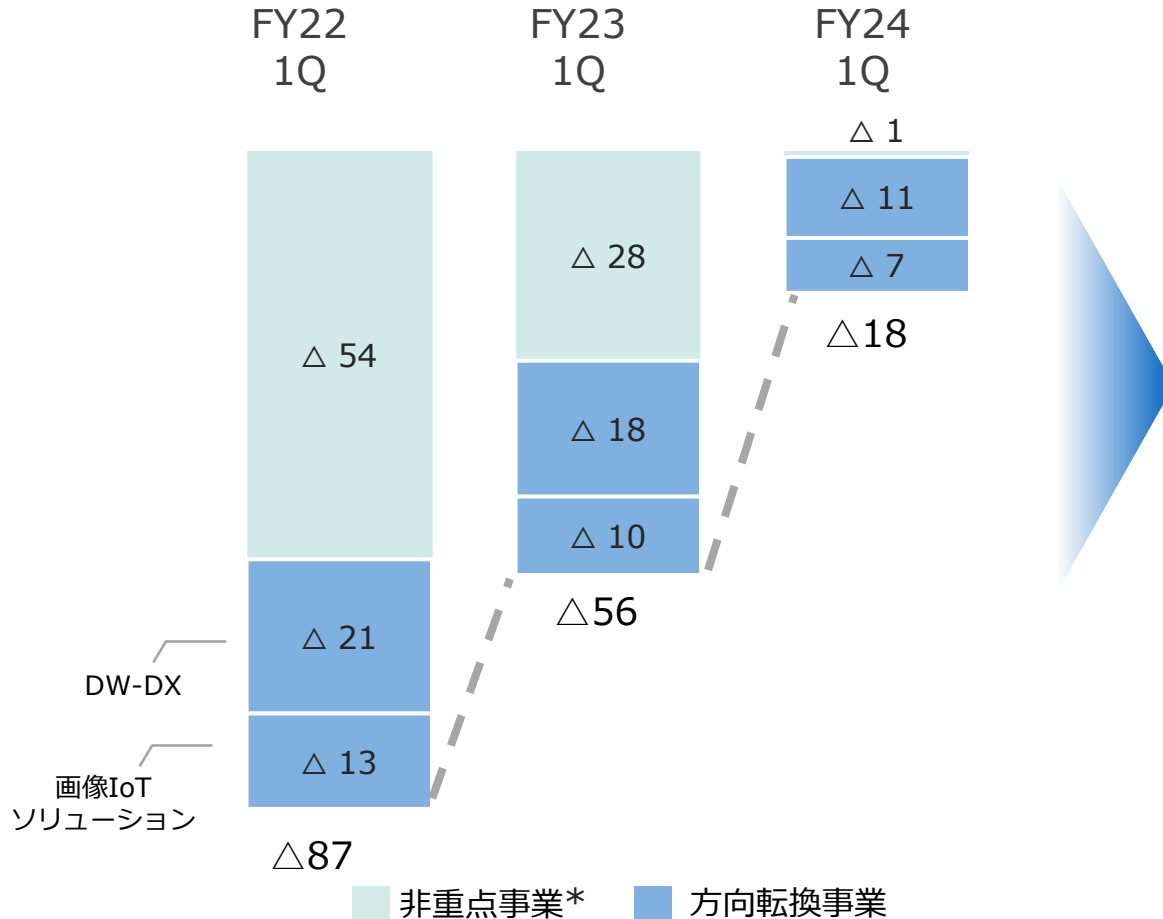


### 方向転換事業

- DW-DX、画像IoTソリューション：米国で施策実行、欧州で従業員代表と協議中

## 事業貢献損失 推移

【億円】



## 中期経営計画の確実な実行

### 非重点事業 “事業の選択と集中”を加速

#### プレジジョンメディシン

- 事業貢献損失27億円改善 遺伝子検査事業の好調 Invicro社の持分譲渡による事業貢献損失改善約2億円
- 営業利益は1Qで譲渡に伴う調整益等でその他収益約16億円を計上

※遺伝子検査サービスも引き続き、積極的な第三者資本活用を検討

### 方向転換事業

地域・展開国と事業領域を絞り込み 実行を開始、計画通り進捗中

#### DW-DX

- 撤退領域の明確化、継続領域の利益率改善
- 米国販売会社ERPソリューション部門 MWA Intelligenceの譲渡完了 (6/30)
- ノルウェー販売会社ITインフラ構築・運用事業 HydraCloudの譲渡完了 (6/30)

\* 非重点事業：プレジジョンメディシンとマーケティングサービスの合算値



- 富士フイルムBIと原材料および部材調達の連携を図る合弁会社の設立を決定し、株主間協定書を締結（7/17リリース発表）
- 新たに設立する合弁会社を通じて、**両社が保有する幅広いサプライヤーネットワークを活用し、商品の強固な供給体制の構築や業務プロセスの効率化など、事業基盤の強化に取り組む**

## 【新会社概要】

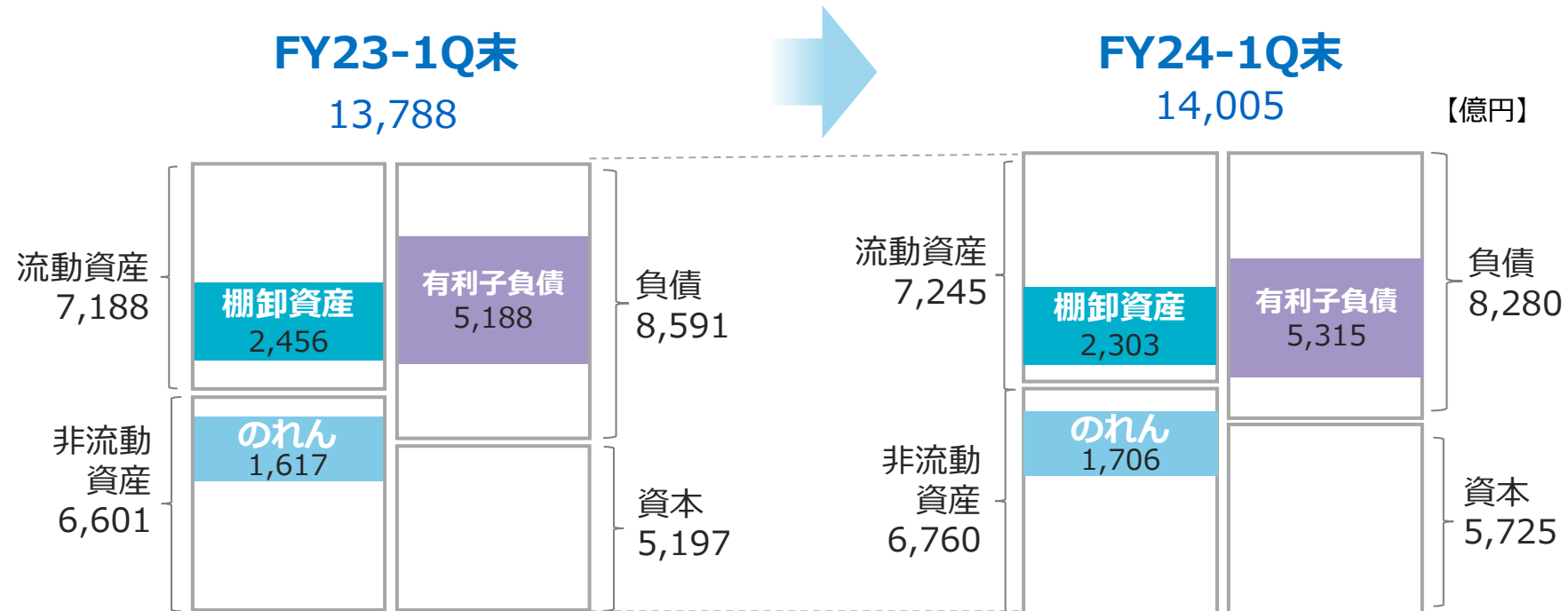
社名	未定
本所所在地	神奈川県 横浜市 港北区 新横浜（予定）
資本金	50百万円
設立日	2024年9月30日（予定）
代表者	代表取締役社長 古川 雅晴（富士フイルムBI株式会社 取締役・執行役員）
従業員数	223名（予定）※派遣社員含む 富士フイルムBI 162名、コニカミノルタ 56名
出資比率	富士フイルムBI 75%、コニカミノルタ 25%
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調達戦略の立案および各生産拠点の調達機能部門への戦略展開</li> <li>・ サプライヤー様との折衝や調達管理など調達主管部門業務</li> <li>・ 外部購入品の品質・コスト・納期・環境対応を担保する調達サービス</li> </ul>

## 為替の影響を受けるが、棚卸資産中心に資産の圧縮が進む

FY24 1Q末実績  
(前年同期比)

総資産 +217億円、為替除く実質 △650億円

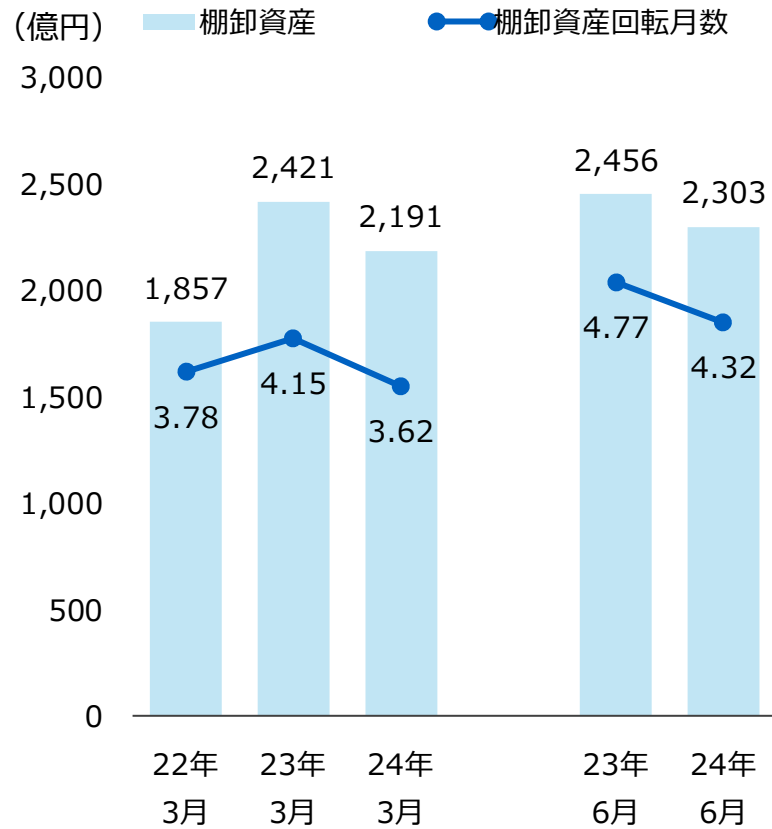
- 運転資本：△145億円、為替除く実質 △460億円
- 棚卸資産：△153億円、為替除く実質 △297億円
- 営業債権：+55億円、為替除く実質 △181億円



# 財務基盤の強化 | 棚卸資産、営業キャッシュ・フロー/FCF

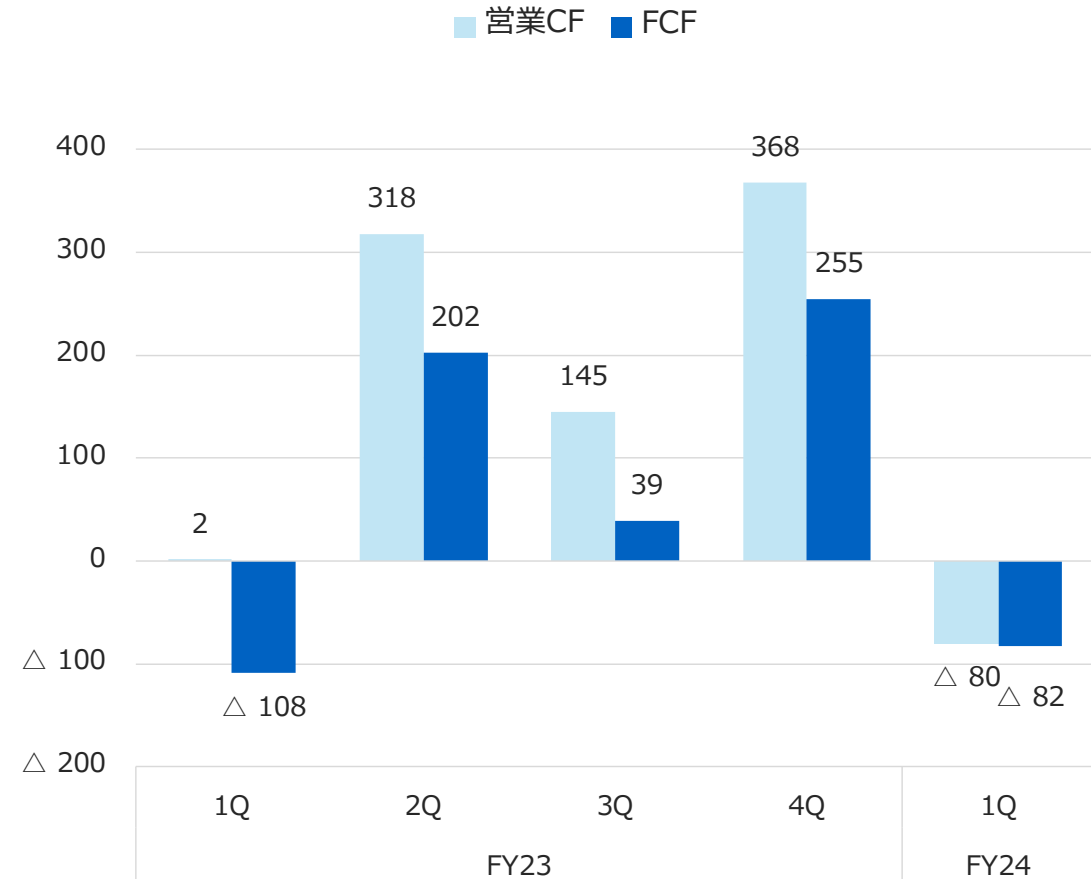
- 前年同期比で棚卸資産の圧縮
- 営業CFは一過性要因により悪化も、Invicro売却に伴う入金もありFCFは改善

## 棚卸資産



## 営業キャッシュ・フロー/FCF

【億円】



# 2024年度業績見通し



# 2024年度 業績見通し | サマリー

- 1Q実績でセグメント間の強弱あるが、期初の業績見通しを据え置き
- 2Q以降の為替は保守的に設定
- 1Qに続き事業の選択と集中、グローバル構造改革を推進、進捗の遅れている事業を強化

【億円】

	FY23 実績	FY24 見通し	差異	増減率
売上高	11,600	11,600	-	-
事業貢献利益	260	400	+140	+ 54%
営業利益	261	130	△131	△ 50%
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	45	0	△45	-

為替感応度 \* 2 【億円】

為替レート 【円】	*1	売上高	営業利益
USドル	144.6	+30	△ 1
ユーロ	156.8	+17	+4
人民元	20.1	+31	+10

\*1 2Q以降の見通し

\*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# マテリアリティ目標達成 に向けて



KONICA MINOLTA

# 成長の芽 | 非化石資源由来のバイオものづくりにおけるプロセスモニタリング

- 産総研との連携ラボにおいて、AI強化センシング技術\*の有効性を確認
- 様々な業界のパートナーとの協業により、AI強化センシングの社会実装を加速
- ターゲット市場：機能性バイオ素材（化学品・食品・医薬品等）の製造工程や開発システム

2023/6~2023/11  
戦略策定

2023/12~2024/5  
技術コンセプト検証

2024/6~  
技術開発

センシング×AI  
技術



KONICA MINOLTA

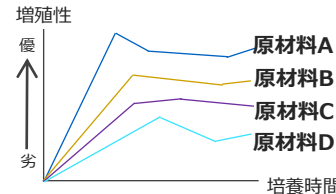
## 高生産株の見える化

産総研の課題解決ノウハウと当社センシング×AI技術で有用物質生産に優れた微生物株を識別するシステムを確立



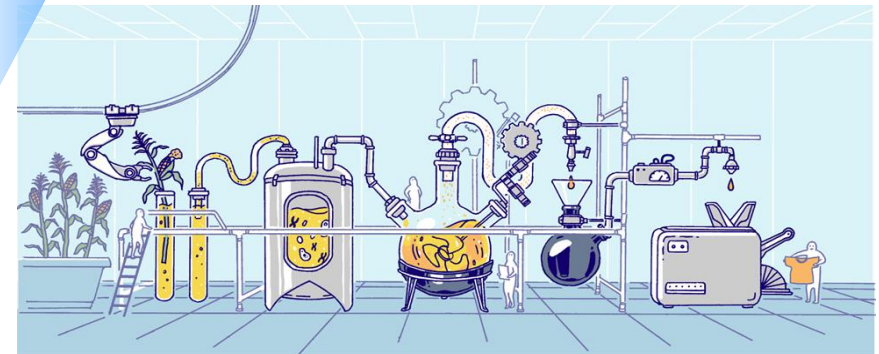
## 培地原材料品質差の見える化

生育促進物質の品質差を複数センシングデバイスによるマルチモーダルAI解析から予測可能



## 今後の取り組み

- AI強化センシングにより、培養タンク内の状態を分析して見える化することで生産プロセス制御の具現化
- バイオものづくりの課題である「品質安定化×低コスト」の実現に向けた生産培養への技術応用に挑戦



\* AI強化センシング：多種大量の計測データから、AIによって有用なデータを抽出する技術

# 気候変動への対応：2025年のCO<sub>2</sub>排出量削減目標を前倒しで達成

2025年度目標前倒し達成

2050年 ネットゼロ  
(自社責任CO<sub>2</sub>)

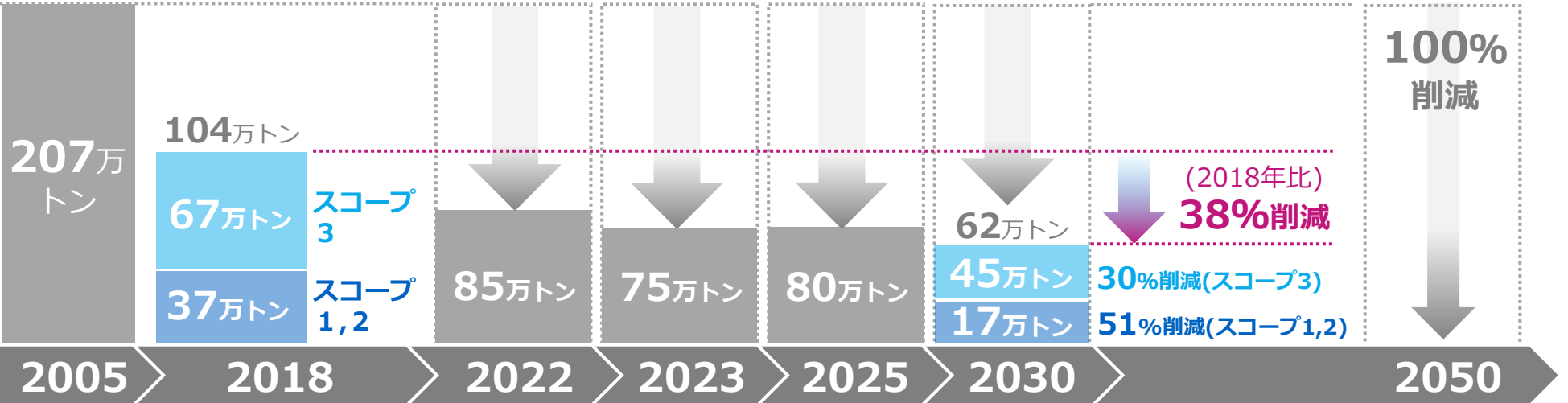
CO <sub>2</sub> 排出削減率	2005年比	58%	64%	61%	70%
	2018年比	18%	28%	23%	38%

## CO<sub>2</sub>排出量

自社製品ライフサイクルでの活動

スコープ1、2

スコープ3



(2018年比)  
**38%削減**  
30%削減(スコープ3)  
51%削減(スコープ1,2)

## CO<sub>2</sub>削減貢献量

自社製品のライフサイクル以外での活動

スコープ4

2025年 カーボンマイナス  
(社会に貢献)





## 世界の様々な機関からサステナビリティの取り組みを高く評価

### SBTiニシアチブ ネットゼロ目標認定

- 国際的なイニシアチブのSBTi\*1より、気候変動に対する中長期的なビジョンであるネットゼロ目標\*2及び短期目標\*3を認定
- 世界1031社のうち、日本では当社含め45社が認定(7/31時点)



### TNFD\*4フォーラム加盟

- 世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）において、TNFDアリーアダプター企業として発表
- 有価証券報告書にてTNFDフレームワークに沿って自然資本の依存と影響の評価等の情報開示



### GPIF ESGインデックス

- 世界最大公的年金基金のGPIFが採用した6つのESG投資指数のすべてに8年連続で選定
- Sustainable Investmentにおいて世界で最も良く知られる指標の一つであるFTSE4Good Index Seriesに21年連続採用



\*1 SBTi(Science Based Targets initiative) :パリ協定の目標達成を支援する目的で、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI、WWFの4団体が2015年に共同で設立した組織

\*2 ネットゼロ目標: FY2050までに、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量をネットゼロにする

\*3 短期目標: FY2030までに、スコープ1およびスコープ2の温室効果ガス排出量をFY2018比で51%削減、スコープ3の温室効果ガス排出量をFY2018比で30%削減

\*4 TNFD: 自然関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Nature-related Financial Disclosures)

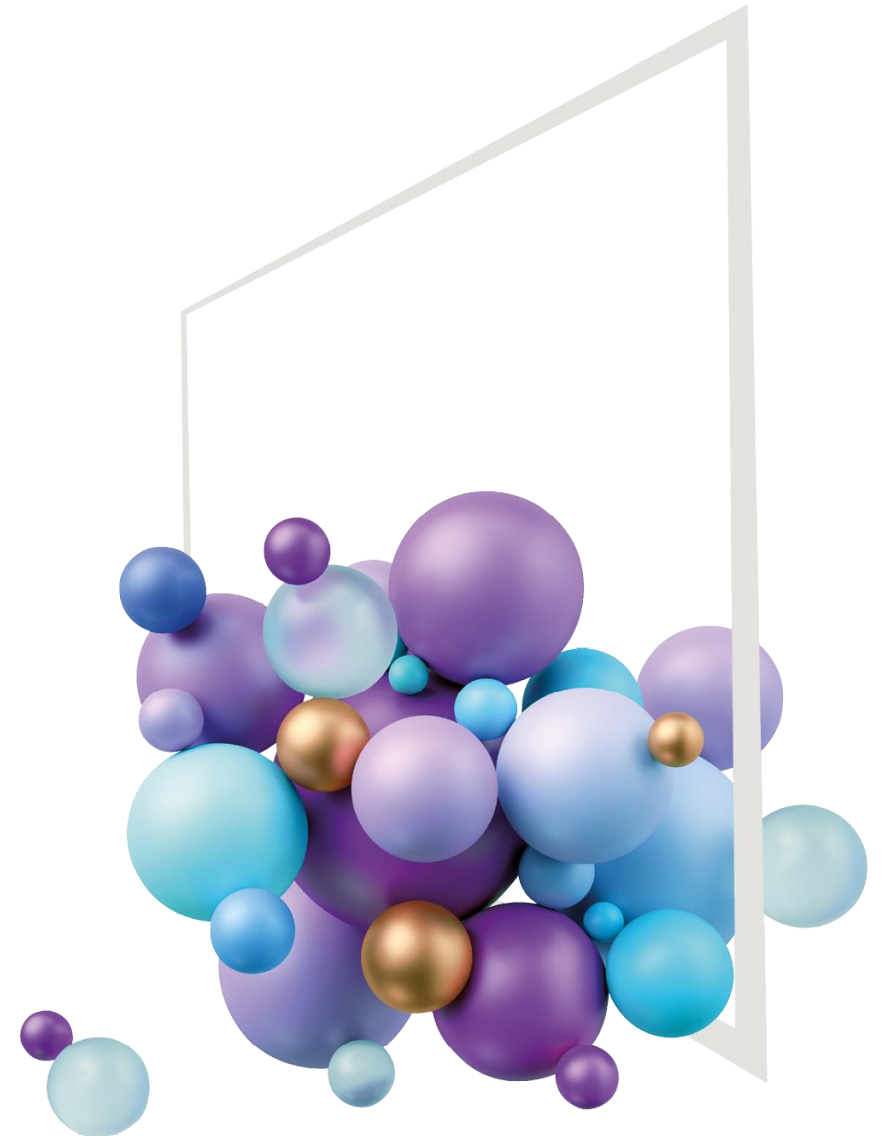


**KONICA MINOLTA**

# APPENDIX

開示しておりました一部資料はウェブ上の開示に変更しました。  
以下よりダウンロードしてご確認ください。

[https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir\\_library/fr/pdf/2025/2025\\_1q\\_presentation\\_supplementary.xlsx](https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2025/2025_1q_presentation_supplementary.xlsx)



# 2024年度 業績見通し | セグメント別組換え 売上高

各セグメントの見通しは据え置き

## FY23 変更前

売上高	FY24 見通し
デジタルワークプレイス事業	6,000
プロフェッショナルプリント事業	2,700
*1) ヘルスケア事業	1,360
*2) インダストリー事業	1,530
*3) コーポレート他	10
全社合計	11,600

## FY24 変更後

【億円】

売上高	FY23 実績	FY24 見通し	差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	6,149	6,000	△149	△ 2%
プロフェッショナルプリント事業	2,634	2,700	+66	+ 3%
*4) インダストリー事業	1,236	1,360	+124	+ 10%
*5) 画像ソリューション事業	1,052	1,080	+28	+ 3%
プレジジョンメディシン事業	523	460	△63	△ 12%
*6) コーポレート他	7	0	△7	-
全社合計	11,600	11,600	0	-

\*1) ヘルスケア事業：メディカルイメージング、プレジジョンメディシン

\*2) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント  
画像IoTソリューション、映像ソリューション

\*3) コーポレート他：QOLソリューション、FORXAI, 技術開発本部、その他コーポレート

\*4) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント、  
インダストリー事業戦略室、インダストリー事業開発センター

\*5) 画像ソリューション事業：ヘルスケア（旧メディカルイメージング）、  
画像IoTソリューション他（QOLソリューション、FORXAI含む）、  
映像ソリューション

\*6) コーポレート他：技術開発本部、その他コーポレート

# 2024年度 業績見通し | セグメント別組換え 事業貢献利益・営業利益

【億円】

## FY23 変更前

事業貢献利益	FY24 見通し	率
デジタルワークプレイス事業	335	5.6%
プロフェッショナルプリント事業	165	6.1%
*1) ヘルスケア事業	△ 20	-
*2) インダストリー事業	185	12.1%
*3) コーポレート他	△ 265	-
全社合計	400	3.4%

営業利益	FY24 見通し	率
デジタルワークプレイス事業	335	5.6%
プロフェッショナルプリント事業	165	6.1%
*1) ヘルスケア事業	△ 20	-
*2) インダストリー事業	185	12.1%
*3) コーポレート他	△ 535	-
全社合計	130	1.1%

## FY24 変更後

事業貢献利益	FY23 実績	FY24 見通し	率	差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	327	335	5.6%	+8	+ 2%
プロフェッショナルプリント事業	138	165	6.1%	+27	+ 20%
*4) インダストリー事業	176	220	16.2%	+44	+ 25%
*5) 画像ソリューション事業	△ 84	△ 55	-	+29	-
プレジジョンメディシン事業	△ 76	△ 40	-	+36	-
*6) コーポレート他	△ 222	△ 225	-	△3	-
全社合計	260	400	3.4%	+140	+ 54%

営業利益	FY23 実績	FY24 見通し	率	差異	増減率
デジタルワークプレイス事業	330	335	5.6%	+5	+ 2%
プロフェッショナルプリント事業	116	165	6.1%	+49	+ 42%
*4) インダストリー事業	166	220	16.2%	+54	+ 33%
*5) 画像ソリューション事業	△ 109	△ 55	-	+54	-
プレジジョンメディシン事業	△ 17	△ 40	-	△23	-
*6) コーポレート他	△ 225	△ 495	-	△270	-
全社合計	261	130	1.1%	△131	△ 50%

\*1) ヘルスケア事業：メディカルイメージング、プレジジョンメディシン

\*2) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント  
画像IoTソリューション、映像ソリューション

\*3) コーポレート他：QOLソリューション、FORXAI, 技術開発本部、その他コーポレート

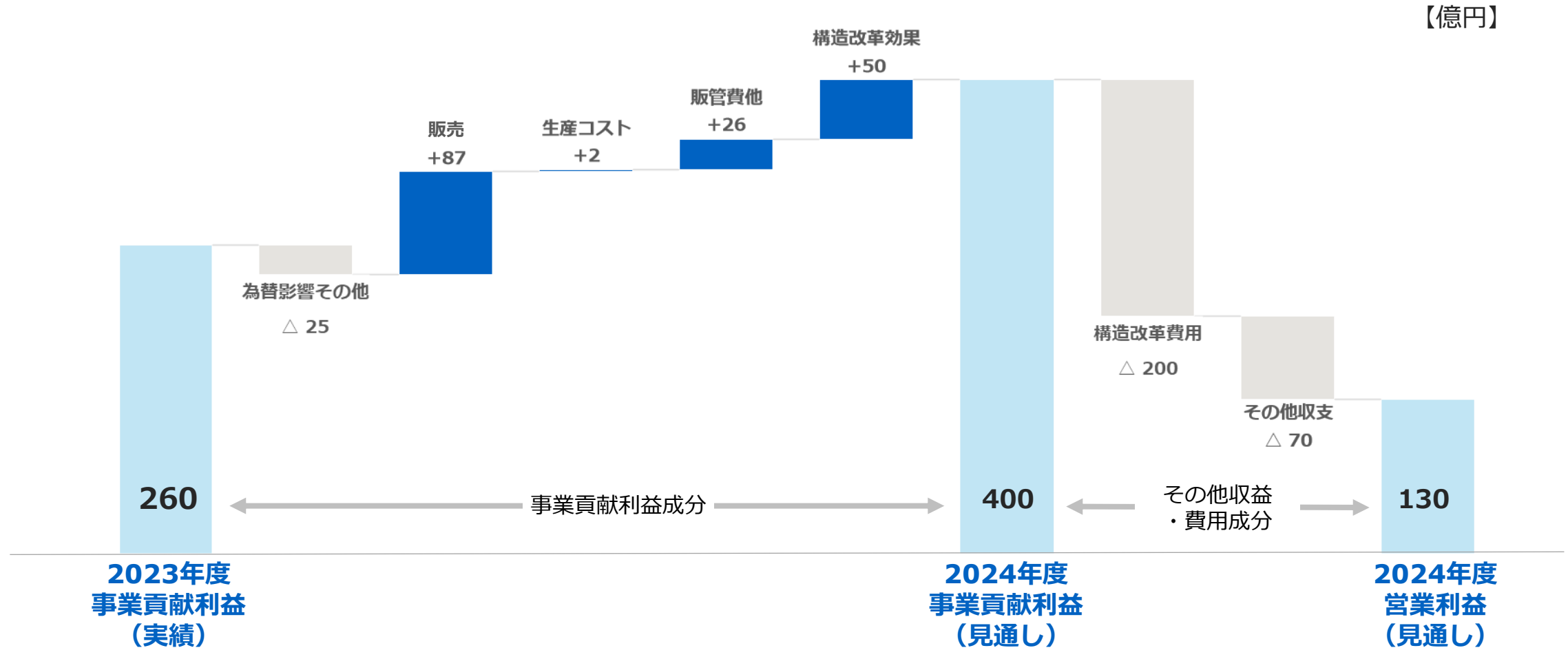
\*4) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント、  
インダストリー事業戦略室、インダストリー事業開発センター

\*5) 画像ソリューション事業：ヘルスケア（旧メディカルイメージング）、  
画像IoTソリューション他（QOLソリューション、FORXAI含む）、  
映像ソリューション

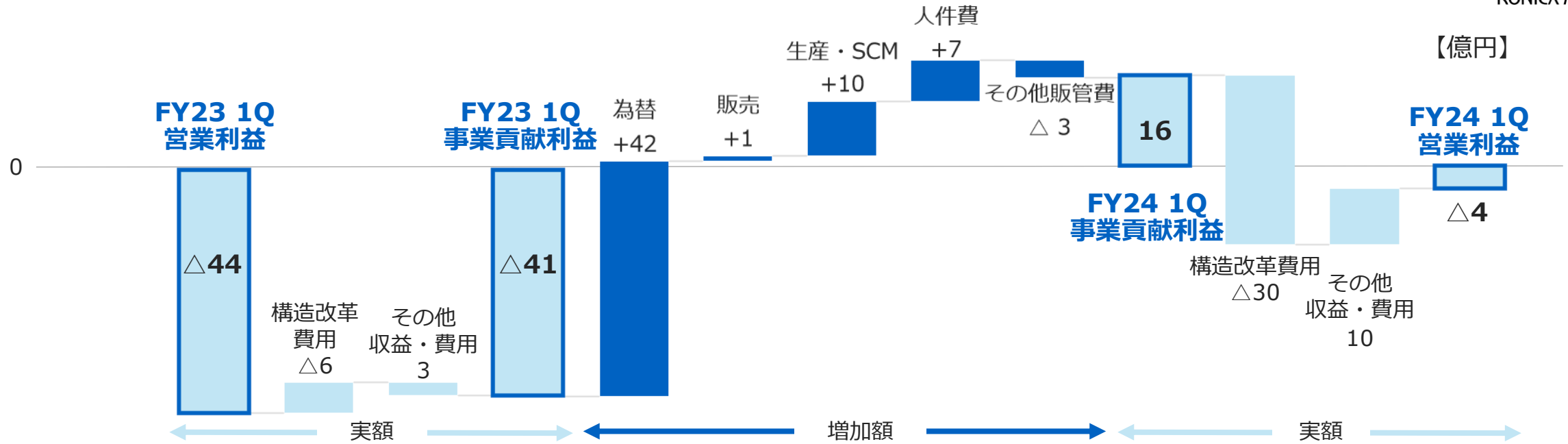
\*6) コーポレート他：技術開発本部、その他コーポレート

# 2024年度 業績見通し（2024年3月期決算説明会資料より再掲）

- 事業貢献利益：為替影響、事業成長・事業構成の変化、コスト構造改善（赤字縮小）、構造改革効果
- 営業利益：構造改革費用、その他収支（事業の選択と集中に伴う一過性費用）



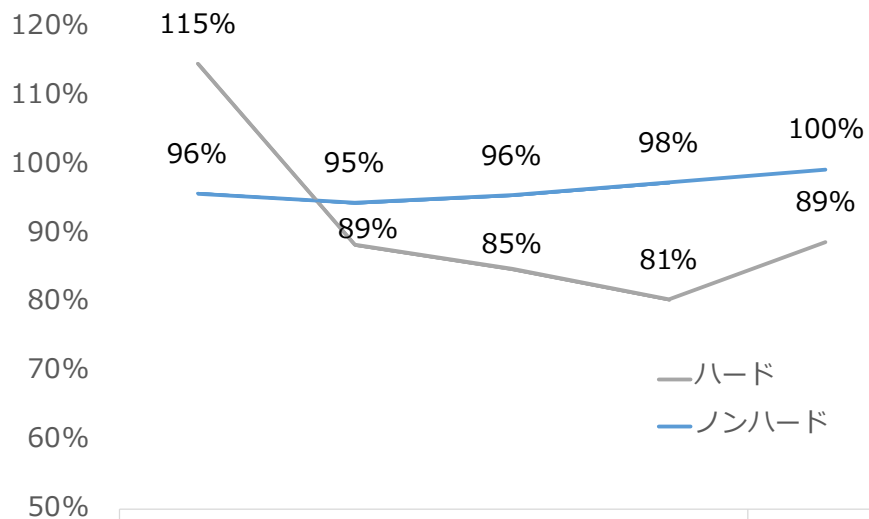
# 2024年度 1Q業績 | 事業貢献利益の増減要因



	FY23 1Q 営業利益	構造改革 費用	その他 収益・費用	FY23 1Q 事業貢献利益	為替	販売	生産・SCM	人件費	その他 販売管理費	FY24 1Q 事業貢献利益	構造改革費用	その他 収益・費用	FY24 1Q 営業利益
デジタルワーク プレイス事業	20	$\Delta 4$	0	24	+22	+3	+9	$\Delta 4$	+14	68	$\Delta 26$	3	45
プロフェッショナル プリント事業	9	-	1	8	+16	+3	+0	$\Delta 4$	$\Delta 6$	18	$\Delta 2$	1	17
インダストリー事業	39	-	0	39	+5	$\Delta 10$	+0	+0	+3	38	$\Delta 0$	$\Delta 7$	31
画像 ソリューション事業	$\Delta 27$	$\Delta 0$	0	$\Delta 27$	$\Delta 0$	$\Delta 10$	-	$\Delta 2$	$\Delta 1$	$\Delta 40$	$\Delta 2$	$\Delta 0$	$\Delta 43$
プレジジョン メディシン事業	$\Delta 31$	$\Delta 1$	0	$\Delta 29$	+1	+10	-	+17	-	$\Delta 2$	$\Delta 0$	16	14
コーポレート他	$\Delta 55$	-	1	$\Delta 55$	$\Delta 1$	+4	-	-	$\Delta 13$	$\Delta 65$	0	$\Delta 3$	$\Delta 68$
合計	$\Delta 44$	$\Delta 6$	3	$\Delta 41$	+42	+1	+10	+7	$\Delta 3$	16	$\Delta 30$	10	$\Delta 4$

# 2024年度 1Q業績 | ハード・ノンハード売上 対前年同期

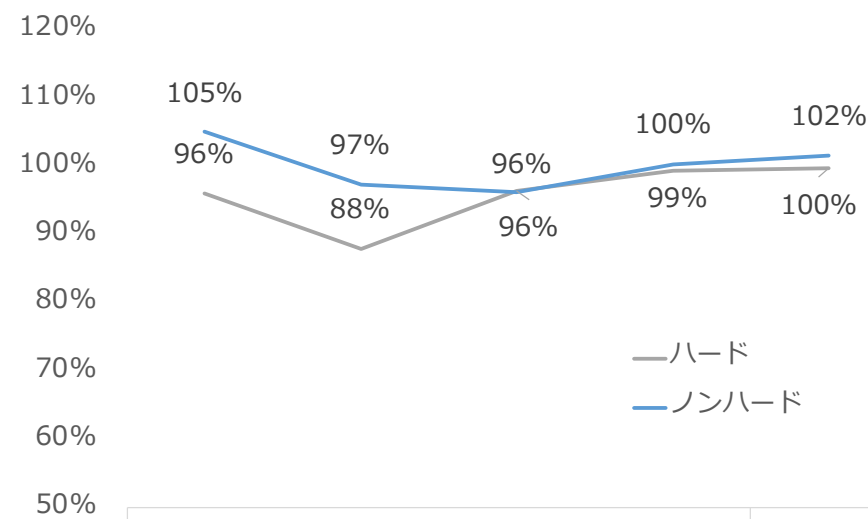
## オフィス



### ノンハード地域別

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
	FY23				FY24
日本	98%	97%	97%	96%	98%
米国	91%	92%	93%	97%	100%
欧州	94%	96%	102%	95%	96%
中国	95%	125%	86%	104%	107%
インド	125%	117%	119%	127%	108%
合計	96%	95%	96%	98%	100%

## プロダクションプリント



### ノンハード地域別

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
	FY23				FY24
日本	102%	107%	98%	97%	99%
米国	93%	86%	91%	103%	101%
欧州	96%	87%	92%	91%	97%
中国	170%	140%	98%	93%	104%
インド	132%	126%	108%	117%	104%
合計	105%	97%	96%	100%	102%



【億円】

	FY23 1Q	FY24 1Q	前期比
売上高	2,664	2,862	+7%
売上総利益	1,119	1,264	+13%
（売上総利益率）	42.0%	44.2%	+2.2pt
販売管理費	1,160	1,248	+8%
事業貢献利益	△ 41	16	-
（事業貢献利益率）	-	0.6%	-
その他収益・費用	△ 3	△ 20	-
営業利益	△ 44	△ 4	-
（営業利益率）	-	-	-
金融収支	△ 13	△ 14	-
税引前利益	△ 58	△ 18	-
（税引前利益率）	-	-	-
法人所得税費用	△ 0	18	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 56	△ 35	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	-	-	-
EPS（円）	△ 11.27	△ 6.98	
設備投資額	78	78	
減価償却費及び償却費 *	134	133	
研究開発費	161	153	
FCF	△ 108	△ 82	
投融資	-	-	

\* IFRS16による使用权資産償却費は含まない

# 販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

【億円】

	FY23 1Q	FY24 1Q	差異
<b>販売管理費</b>			
販売変動費	110	115	+5
研究開発費	161	153	△8
人件費	568	616	+48
その他	320	363	+43
販売管理費 計	1,160	1,248	+88
*為替影響額：	94億円（除く為替 △6億円）		
<b>その他の収益</b>			
子会社株式売却益	-	16	+16
その他収益	15	16	+1
その他の収益 計	15	32	+17
<b>その他の費用</b>			
事業構造改善費用	6	30	+24
有形固定資産及び無形資産除売却損	3	6	+4
その他費用	9	16	+6
その他の費用 計	18	52	+34
<b>金融収支</b>			
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 24	△ 22	+1
為替差損益	15	8	△7
その他	△ 4	0	+4
金融収支 計	△ 13	△ 14	△2

# 連結キャッシュ・フロー

	【億円】	
	FY23 1Q	FY24 1Q
税引前損失 (△)	△ 58	△ 18
減価償却費及び償却費	186	189
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	245	183
棚卸資産の増減 (△は増加)	94	△ 6
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	△ 313	△ 228
その他	△ 152	△ 199
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2</b>	<b>△ 80</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 52	△ 61
無形資産の取得による支出	△ 43	△ 32
子会社株式の取得による支出	△ 10	△ 2
その他	△ 5	93
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 111</b>	<b>△ 3</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 108</b>	<b>△ 82</b>

# 連結財政状態計算書

	23年6月	24年3月	24年6月
現金及び現金同等物	1,098	1,271	1,101
営業債権及びその他の債権	3,147	3,195	3,227
棚卸資産	2,456	2,191	2,303
その他の流動資産	485	418	492
売却目的で保有する資産	-	367	122
<b>流動資産合計</b>	<b>7,188</b>	<b>7,442</b>	<b>7,245</b>
有形固定資産	2,952	2,822	2,949
のれん及び無形資産	2,728	2,710	2,809
その他の非流動資産	920	906	1,002
<b>非流動資産合計</b>	<b>6,601</b>	<b>6,438</b>	<b>6,760</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,788</b>	<b>13,881</b>	<b>14,005</b>

【億円】

	23年6月	24年3月	24年6月
営業債務及びその他の債務	1,808	1,938	1,824
社債及び借入金	4,145	4,266	4,228
リース負債	1,043	959	1,086
その他の負債	1,595	1,183	1,141
<b>負債合計</b>	<b>8,591</b>	<b>8,347</b>	<b>8,280</b>
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,069	5,398	5,584
非支配持分	128	136	141
<b>資本合計</b>	<b>5,197</b>	<b>5,534</b>	<b>5,725</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>13,788</b>	<b>13,881</b>	<b>14,005</b>

	23年6月	24年3月	24年6月
自己資本比率(%)	36.8	38.9	39.9
格付け評価用自己資本比率(%)	40.3	42.4	43.3
D/Eレシオ	1.02	0.97	0.95

# 主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】  
【影響額、感応度：億円】

	FY23	FY24	対前年影響額		為替感応度*2	
	1Q	1Q	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	137.37	155.88	+128	△ 1	+30	△ 1
ユーロ	149.47	167.88	+67	+30	+16	+4
ポンド	171.91	196.85	+15	△ 1	+2	+1
欧州通貨*1	-	-	+88	+30	+23	+7
人民元	19.56	21.48	+16	+6	+32	+12
その他	-	-	+27	+6	-	-
予約影響額	-	-	-	△ 0	-	-
合計	-	-	+259	+40	-	-

\*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

\*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# セグメント別四半期推移

## FY23 変更前

【売上高】	FY23				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
デジタルワークプレイス事業	1,433	1,512	1,561	1,643	<b>6,149</b>
オフィス	1,226	1,291	1,332	1,396	<b>5,245</b>
DW-DX	207	221	228	247	<b>904</b>
プロフェッショナルプリント事業	602	638	657	737	<b>2,634</b>
プロダクションプリント	377	410	435	464	<b>1,686</b>
産業印刷	77	94	86	119	<b>376</b>
マーケティングサービス	148	134	136	153	<b>572</b>
ヘルスケア事業	293	345	347	405	<b>1,390</b>
メディカルイメージング	180	221	204	262	<b>867</b>
プレジジョンメディシン	113	124	143	143	<b>523</b>
インダストリー事業	332	362	322	380	<b>1,396</b>
センシング	91	98	99	106	<b>394</b>
機能材料	114	128	85	122	<b>448</b>
IJコンポーネント	45	47	49	55	<b>196</b>
光学コンポーネント	47	48	51	52	<b>197</b>
画像IoTソリューション	27	31	27	28	<b>113</b>
映像ソリューション	8	10	11	17	<b>47</b>
*1) コーポレート他	4	6	5	16	<b>31</b>
全社合計	2,664	2,864	2,892	3,180	<b>11,600</b>

\*1) 「QOLソリューション」「FORXAI」の売上高込み

## FY24 変更後

【売上高】	FY23					FY24
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
デジタルワークプレイス事業	1,433	1,512	1,561	1,643	<b>6,149</b>	1,520
オフィス	1,226	1,291	1,332	1,396	<b>5,245</b>	1,290
DW-DX	207	221	228	247	<b>904</b>	230
プロフェッショナルプリント事業	602	638	657	737	<b>2,634</b>	676
プロダクションプリント	377	410	435	464	<b>1,686</b>	422
産業印刷	77	94	86	119	<b>376</b>	84
マーケティングサービス	148	134	136	153	<b>572</b>	171
インダストリー事業	297	320	284	335	<b>1,236</b>	310
センシング	91	98	99	106	<b>394</b>	88
機能材料	114	128	85	122	<b>448</b>	131
IJコンポーネント	45	47	49	55	<b>196</b>	53
光学コンポーネント	47	48	51	52	<b>197</b>	37
画像ソリューション事業	218	267	246	321	<b>1,052</b>	228
ヘルスケア	180	221	204	262	<b>867</b>	188
*2) 画像IoTソリューション他	29	36	30	42	<b>138</b>	31
映像ソリューション	8	10	11	17	<b>47</b>	9
プレジジョンメディシン事業	113	124	143	143	<b>523</b>	126
コーポレート他	2	2	2	2	<b>7</b>	2
全社合計	2,664	2,864	2,892	3,180	<b>11,600</b>	2,862

\*2) 「QOLソリューション」「FORXAI」の売上高込み

# セグメント別四半期推移

## FY23 変更前

	FY23				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
【事業貢献利益】					
デジタルワークプレイス事業	24	84	97	122	<b>327</b>
プロフェッショナルプリント事業	8	28	52	50	<b>138</b>
*1) ヘルスケア事業	△ 32	△ 8	△ 15	△ 11	△ <b>66</b>
*2) インダストリー事業	26	34	31	33	<b>124</b>
*3) コーポレート他	△ 66	△ 75	△ 66	△ 56	△ <b>263</b>
全社合計	△ 41	64	99	138	<b>260</b>
【営業利益】					
デジタルワークプレイス事業	20	80	96	133	<b>330</b>
プロフェッショナルプリント事業	9	27	51	28	<b>116</b>
ヘルスケア事業	△ 34	△ 9	△ 16	46	△ <b>13</b>
インダストリー事業	27	29	14	24	<b>94</b>
コーポレート他	△ 66	△ 76	△ 68	△ 57	△ <b>266</b>
全社合計	△ 44	52	78	175	<b>261</b>

- \*1) ヘルスケア事業：メディカルイメージング、プレジジョンメディシン  
 \*2) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント  
 画像IoTソリューション、映像ソリューション  
 \*3) コーポレート他：QOLソリューション、FORXAI, 技術開発本部、その他コーポレート

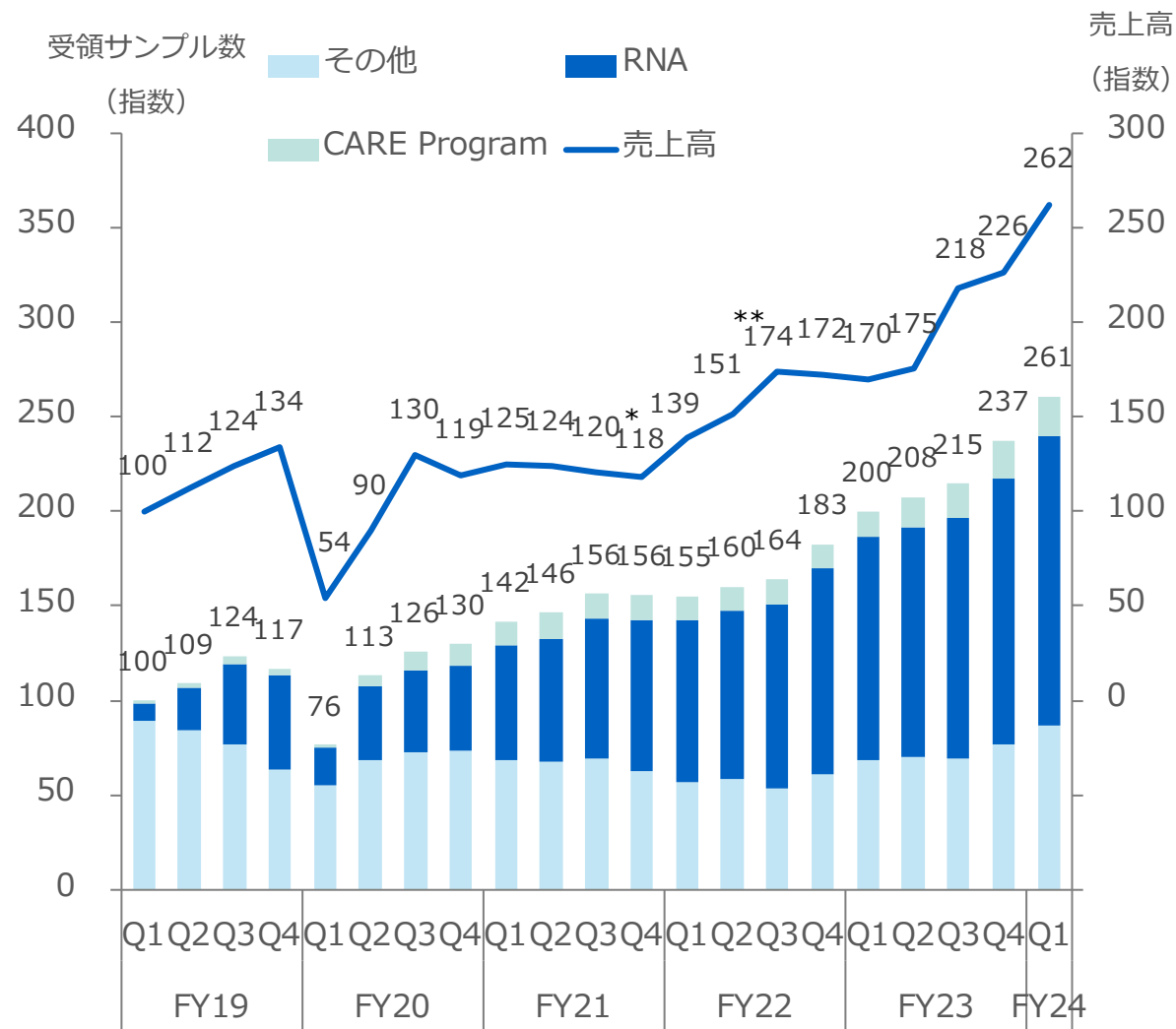
## FY24 変更後

【事業貢献利益】	FY23					FY24
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
デジタルワークプレイス事業	24	84	97	122	<b>327</b>	68
プロフェッショナルプリント事業	8	28	52	50	<b>138</b>	18
*4) インダストリー事業	39	43	44	51	<b>176</b>	38
*5) 画像ソリューション事業	△ 27	△ 8	△ 29	△ 20	△ <b>84</b>	△ 40
プレジジョンメディシン事業	△ 29	△ 21	△ 11	△ 15	△ <b>76</b>	△ 2
*6) コーポレート他	△ 55	△ 63	△ 54	△ 51	△ <b>222</b>	△ 65
全社合計	△ 41	64	99	138	<b>260</b>	16
【営業利益】						
デジタルワークプレイス事業	20	80	96	133	<b>330</b>	45
プロフェッショナルプリント事業	9	27	51	28	<b>116</b>	17
インダストリー事業	39	37	44	46	<b>166</b>	31
画像ソリューション事業	△ 27	△ 8	△ 47	△ 26	△ <b>109</b>	△ 43
プレジジョンメディシン事業	△ 31	△ 21	△ 11	46	△ <b>17</b>	14
コーポレート他	△ 54	△ 64	△ 56	△ 51	△ <b>225</b>	△ 68
全社合計	△ 44	52	78	175	<b>261</b>	△ 4

- \*4) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント、  
 インダストリー事業戦略室、インダストリー事業開発センター  
 \*5) 画像ソリューション事業：ヘルスケア（旧メディカルイメージング）、  
 画像IoTソリューション他（QOLソリューション、FORXAI含む）、  
 映像ソリューション  
 \*6) コーポレート他：技術開発本部、その他コーポレート

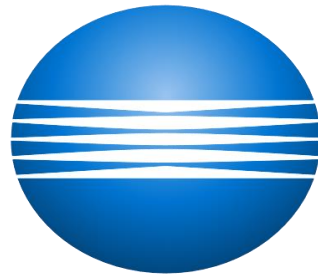
FY19 1Qを100とした時の指数/売上高は円貨ベース

## Ambry社 売上高および受領サンプル数推移



\* 売掛金/売上高減額前  
 \*\* 売掛金/売上高修正を反映





# KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。